

「平成26年度第3回習志野市社会教育委員会議」会議録

1. 日 時：平成27年3月17日（火） 午後1時15分から2時30分まで
2. 開催場所：習志野市教育委員会1階大会議室
3. 出席者氏名
出席委員：田尻 正代委員、山本 文男委員、中野 和寿子委員、
宮内 宏和委員、桐生 庸介委員、榎 英子委員、竹内 比呂也委員
欠席委員：牧野 岳彦委員、合志 久恵委員
出席職員：植松教育長、広瀬生涯学習部長、櫻井生涯学習部次長、
上野社会教育課長、浅野目青少年課長、佐久間青少年センター所長、
佐々木菊田公民館長、寄主市民会館長、
岡野大久保図書館長、生涯スポーツ課 佐久間主幹、
社会教育課 忍係長、池田主事
傍聴者：0人
4. 会議内容
～開会～
 1. 教育長挨拶
 2. 議事録署名人選出
副委員長より宮内 宏和委員、桐生 庸介委員を指名～議事～
 3. 報告事項（進行：事務局）
 - (1) 平成26年習志野市議会第4回定例会及び平成27年習志野市議会第1回定例会一般質問について
上野社会教育課長より資料のとおり説明

【質疑】

榎委員

習志野市は、指定管理者の選定評価を誰が行ったかを公開していない。市町村によっては、職員、市民代表、専門家、税理士などで構成される委員会が選定評価を行っている。社会教育委員会議で評価結果を報告するとあるが、社会教育委員会議に報告することで第三者評価となるのか。

上野社会教育課長

習志野市では、指定管理者の選定を職員で行っているため、選定の段階で第三者を入れた方が良いという意見があり、せめて、実績については、第三者の意見を入れた方が良いという質問の趣旨である。経理状況や労務状況については、外部に検証していただいた上で、社会教育委員会議の中で評価項目の内容等について意見をいただきたい。

榎委員

第三者評価の結果が、次の選定につながる評価でなければならない。

(2) 平成27年度生涯学習部予算の概要及び主要施策別重点事業について及び(3) 平成27年度社会教育関係団体に対する活動補助金について

上野社会教育課長より資料のとおり説明

(4) 指定管理者の指定結果について及び(5) 生涯学習部所管施設のモニタリングについて

社会教育課長より資料のとおり説明

【質疑】

中野委員

図書館流通センターの実績評価表にある、蔵書管理の課題とはどのようなことか。

岡野大久保図書館長

指定管理者のいくつかの館において、除籍の目標冊数が達成されなかったことである。

(6) 放課後児童健全育成事業にかかる放課後児童会入会要領について
浅野目青少年課長より資料のとおり説明

(7) 大久保地区公共施設再生について
上野社会教育課長及び岡野大久保図書館長より資料のとおり説明

【質疑】

桐生委員

図書館単体で、人を集められないのか。

岡野大久保図書館長

大久保図書館は、蔵書や机と椅子のある閲覧スペースが少ない。そのため、今回の大久保地区公共施設再生計画では、蔵書数と閲覧席の拡大を図った上で、1日を過ごせる場所として飲食スペースが必要であると考えます。

宮内委員

子どもが安全に遊べる広場を作ってほしい。

上野社会教育課長

中央公園を広場という感覚で使いたいという市民の意見がある。どこまで規制緩和をできるのか、担当部署に投げかけている。

山本副委員長

リノベーションか建て替えのどちらになったのか。

上野社会教育課長

市民会館と大久保公民館は建て替えた方が経費は安く、大久保図書館はリノベーションの方が経費は安いという試算は出ているが、仮に、建て替えた場合の移転費用や機能の補完場所などを考慮すると、経費の判断が難しく、結論は出していない。

山本副委員長

市民会館は、今の規模より小さくなるのか。

上野社会教育課長

面積の問題で、これ以上規模を大きくすることが難しい。客席を設けずに、必要な時に椅子や舞台を出せるようなホールにするという案がある。

田尻委員

限られたスペースの中で、駐車場はどうなっているのか。

上野社会教育課長

駐車場は必須であり、方向性はまとまっている。現状としては、真ん中辺り（ゲートボール場）に設置するという案があるがまだ確定はしていない。スペースは今の倍以上を確保する。

田尻委員

パークゴルフ場はそのままか。

上野社会教育課長

現状のままである。

槇委員

プレイパークなど、放課後児童会に行かない子どもが放課後の時間どう過ごすのかが他市でも議論になっている。ワークショップは、実現への市民の期待を生む。アンケート等を行っただけでなく、PDCAサイクルとして、次のアクションが必要だと考える。

上野社会教育課長

現状は、皆さんの意見を出していただいている。市民の中には、意見が多いものは実現

すると思っている方もいらっしゃる。平成27年度においては、既存の法律に照らし合わせ、市民の意見を聞いた中で、行政側の意見をどのように反映させていくのか基本計画に結びつけていく。

槇委員

行政と市民が一緒に実現していくということが、市の活力だと思うため、そういった活力をそぐわない方向を探っていただきたい。

4. その他

社会教育課より次回会議日程について説明

～閉会～

5. 所管課名

教育委員会 生涯学習部 社会教育課

電話番号 047-453-9382

FAX番号 047-453-9284